

# 2019年度 海外出版助成申請要項

公益財団法人 サントリー文化財団

## 1. 助成の目的

海外出版助成は、海外における日本理解を促進するために、以下の通り英語をはじめとする外国語への翻訳、編集、出版費を助成の対象とする。

- A. 日本語で書かれた優れた研究業績を国際的に発信するもの。
- B. 日本について書かれた書籍で、海外における日本理解に資するもの。

## 2. 助成内容

助成は申請図書の新訳費及び出版費に対して行われます。申請限度額の上限は図書制作にかかる総費用の**2分の1**かつ**100万円**とします。

ただし、**英語への翻訳出版**はそのコストに鑑み、総費用の**3分の2**かつ**200万円**を上限とします。(英語での書き下ろしの場合の上限は100万円です。)

## 3. 対象となる図書

- ・対象は原則として、人文学、社会科学の分野において日本語で書かれた優れた研究業績、あるいは日本について書かれ、助成を受けることによって翻訳・出版の道がひらかれる作品とします。
  - ・日本語以外での出版であれば何語によるものでも構いません。
  - ・本年度の選考対象は、**2020年4月から2022年3月末日**までの間に出版予定のものとして。
  - ・信頼しうる出版社との取り決め・第三者の推薦等、質の高い翻訳および出版物であることの保証が必要です。
  - ・シリーズものの図書については、各々1冊ずつ申請を行って下さい。
- \*ただし、次のものは助成の対象とはなりませんので、ご注意下さい。

- ①自然科学分野のもの
- ②過去に出版された翻訳書の改訳
- ③過去に出版された出版物の再版
- ④雑誌、観光案内、パンフレットの類
- ⑤商業的に十分採算がとれると思われるもの
- ⑥信頼しうる出版社との出版契約がなされていないもの
- ⑦有償、無償にかかわらず、確実な配布計画を持たない出版物

## 4. 選考方法

選考は当財団の選考委員会において行われ、理事会において決定いたします。

## 5. 助成金の交付

助成金の交付は、原則として次のように行います。

- ①交付は、助成の決定した申請図書が完成し、それが当財団に到着した後一括で行います。
- ②交付期限は助成決定後2年とします。

## 6. 進捗状況等の報告

- ①本助成の円滑な達成を図るため、助成対象者に対して、適宜、進捗状況の報告を求めることがあります。
- ②助成を受けた図書のしかるべき箇所に、**公益財団法人サントリー文化財団の助成を受けた旨、印刷明記**して下さい。
- ③助成を受けた図書が出版された際には、資料として**該当図書5冊**を当財団へ寄贈して下さい。

以上

# 海外出版助成申請にあたって

公益財団法人 サントリー文化財団

## 1. 申請書記入等について

- ①申請は当財団海外出版助成の指定申請書(全4ページ)を用いて、必ず枠内にご記入下さい。
- ②可能な限り申請書はワープロ、タイプ等でご記入下さい。ウェブサイトに掲載している申請書(ワードファイル)を使用いただく場合や、ご自身でのフォーマットを作成する場合も、記入項目、様式、ページ数を変更しないで下さい。
- ③申請書は日本語または英語でご記入下さい。その他の言語では申請を受け付けません。
- ④申請額は、日本円でご記入下さい。助成額は、日本円にて決定いたします。
- ⑤図書制作にかかる総費用とは、印刷・製本費、用紙代、原稿の編集・校閲費、翻訳費等の合計とし、原則として次のものは含みません。
  - (1) 広告・宣伝費
  - (2) 販売・営業費
  - (3) 通信・備品費
  - (4) 調査・渡航費
  - (5) 組織の運営・管理費
- ⑥助成申請額については、その用途および明細、または申請額の根拠を必ず明記して下さい。
- ⑦本助成の申請に際して、他の機関からの助成を受けていても構いませんが、その場合は申請中のもも含めて、その内容(助成決定額または申請額、助成機関名または申請機関名、助成決定時期または決定予定時期等)を全て申請書の該当欄にご記入下さい。
- ⑧申請書提出後または助成決定後に、申請図書の内容、体裁、価格および図書制作にかかる総費用等に、何らかの変更が生じた場合には、速やかに当財団事務局までご連絡下さい。変更のご連絡がなく図書が出版された場合は、助成決定が取り消されることがありますのでご注意下さい。
- ⑨日本国外の住所は英語でご記入下さい。

## 2. 添付書類

申請に際しては、申請書に必ず次の書類を添付して下さい。添付書類の言語が日本語、英語以外の場合は翻訳を添えて提出して下さい。添付書類に不備がある場合は、選考の対象より除外されることがあります。また、提出された申請書および添付書類は、原則として返却しませんのでご了承下さい。

- ①内容についての具体的な説明、趣旨をまとめた文書(A4サイズ1枚)
- ②助成を得た場合に、申請図書が確実に翻訳・出版されることを保証する旨の、出版社との取り決め等の正式文書(コピーでも可、出版社のレターヘッド使用が望ましい)
  - \* 翻訳についてのみの助成の場合も、必要です。
- ③申請図書制作にかかる総費用の見積明細書(印刷・製本会社発行のもので、印刷費・製本費・用紙代など項目別明細の記載されたもの)
  - \* 翻訳についてのみの助成申請の場合は、翻訳費の見積と総費用の見積の双方が必要です。
- ④翻訳出版の場合…日本語の原著(コピーによる目次、序章などの抜粋でも可)
  - 日本語以外での書き下ろしの場合…目次
  - 共著の場合…執筆者リスト
- ⑤第三者からの推薦書または意見書(A4サイズ1枚)

### 3. 助成金の交付に関する注意

助成金の支払いは、原則として日本国内の場合は日本円で行います。海外へ送金の場合は希望の通貨にて行います。日本円との交換レートは、当財団による助成金交付手続き時の交換レートによります。

### 4. 申請締切

**2019年11月29日(金) 当日消印有効**

全ての書類を簡易書留(海外からの場合はそれに準ずるもの)にて郵送及び、申請書(ワードファイル)はE-mailでも送付のこと。

E-mailの件名は「2019 海外出版助成申請」としてください。

<送付先>

〒530-8204 大阪市北区堂島2-1-5 サントリーアネックス 9階  
公益財団法人サントリー文化財団 海外出版助成係  
TEL : 06 (6342) 6221 FAX : 06 (6342) 6220  
sfnd@suntory-foundation.or.jp

### 5. 助成の決定

2020年3月の予定。

助成決定は、文書にて通知いたします。

助成決定者は申請図書出版までのスケジュールを速やかにご連絡下さい。連絡がない場合は、助成決定が取り消されることがあります。

以 上

# 2019 年度 サントリー文化財団 「海外出版助成」申請書

公益財団法人サントリー文化財団  
理事長 鳥井 信吾 殿

2019 年 月 日

申請者 氏名	フリガナ	印	歳
所属機関 ・職名			

私は、貴財団作成の申請要項記載事項に同意して、下記のとおり申請します。

### 記

タイ トル 書	外国語	申請図書で使用する言語：
	日本語	
出版社		出版予定 年 月

助成申請額 2 ページ目(a)	万円
総費用 2 ページ目(b)	万円

申請限度額は総費用の上限は2分の1かつ100万円です。ただし、英語への翻訳出版の場合は、総費用の3分の2かつ200万円が上限です。

### 著者または編者

氏名	フリガナ
所属 ・役職	

### 経歴

### 申請図書出版の意義

申請図書の仕様	判型	予定発行部数	予定頁数	予定価格
スケジュール	原稿（翻訳）完了時期		出版予定時期	
	年 月		年 月	

助成申請額(a)	万円	換算レート	通貨単位
		1 _____ = 円	
助成金の使途または助成申請額の根拠（広告・営業費等は除く）			
明細（広告・営業費等は除く） ＊印刷費 ＊製本費 ＊用紙代 ＊編集・校閲費 ＊翻訳費 ＊その他（詳細明記）			
図書制作の 総費用（b）	万円		

### 他機関からの助成

状 況	決定額(万円)	助成 決定時期	助成 機関名	研究費等の 名称	申請者
	申請額(万円)				
決定済・申請中	(万円)	年 月			
	(万円)				
状 況	決定額(万円)	助成 決定時期	助成 機関名	研究費等の 名称	申請者
	申請額(万円)				
決定済・申請中	(万円)	年 月			
	(万円)				

氏名:

## 出版社

社名			
代表者氏名			
本件担当者名			
〒			
TEL		FAX	
E-mail			
概要（年間刊行点数・年間売上・主たる分野など）			

## 配布計画及び著作権処理状況

--

## 翻訳者

氏名	フリガナ	歳
所属 ・役職		
経歴		
主な翻訳		

氏名:

申請者 ※日本国内以外の住所はアルファベットで記入

連絡先	所属機関	〒	
		TEL	FAX
	自宅	〒	
		TEL	携帯
	郵便物送付先は、 <input type="checkbox"/> 所属機関 / <input type="checkbox"/> 自宅 を希望 (いずれかにレ、または不要な方を削除)		
E-mail			
経歴			

**添付書類**

1. 内容についての具体的な説明・趣旨をまとめた文書 (A4 サイズ 1 枚)
2. 助成を得た場合に、申請図書が確実に翻訳・出版されることを保証する旨の、出版社との取り決め (コピーでも可)
3. 申請図書制作にかかる総費用の見積明細書 (印刷・製本会社発行のもの)
4. 翻訳出版の場合：日本語の原著 (コピーによる目次、序章などの抜粋でも可)  
  
日本語以外での書き下ろしの場合：目次  
  
共著の場合：執筆者リスト
5. 第三者からの推薦書または意見書 (A4 サイズ 1 枚)

氏名: